## 米に関するマンスリーレポート(令和7年9月号)正誤表

誤							正					
3 米の契約・販売情報						3 米の契約・販売情報						
6	6 令和7年産水稲の生育状況について(令和7年9月1日報告時点)						6 令和7年産水稲の生育状況について(令和7年9月1日報告時点)					
(ページ「契約-11」)						(ページ「契約-11」)						
青森県	県全体 成熟期~収穫期	- 出穗最盛期 早7日	・出穂最盛期は平年より7日早い7月 28日で、その後も高温に推移したことから、刈取適期の始めは平年よりも 早まる見込み。 早い地域では、8月末から収穫が始まっている。 「まっしぐら」は平年と比べ、稈長が並、穂長はやや長く、㎡当たり穂数は かなり少なかった。 <本年(平年差・比)> 稈長 78.2cm(101%) 穂長 19.3cm(105%) 穂数 356本/㎡(91%)	・8月21日発行の「稲作生産 情報第7号」において、適期列 取等について呼びかけた。	特になし	青森県	県全体 成熟期~収穫期	- 出穂最盛期 早7日	・出糖最盛期は平年より7日早い7月 28日で、その後も高温に推移したことから、刈取適期の始めは平年よりも 早まる見込み。 早い地域では、8月末から収穫が始まっている。 「まっしぐら」は平年と比べ、稈長が 並、糖長はやや長く、㎡当たり穂数は かなり少なかった。 <本年(平年差・比)> 稈長 78.2cm(101%) 穂数 356本/㎡(91%)	・8月21日発行の「稲作生産 情報第7号」において、適期刈 取等について呼びかけた。	特になし	
	津軽地域 (県西部) <u>出穂期</u>	一 出穂最盛期 早7日	・出稿最盛期は平年より7日早い7月 28日で、その後も高温に推移したことから、刈取適期の始めは平年よりも 早まる見込み。 「まっしぐら」は平年と比べ、稈長が 並、積長はやや長く、㎡当たり穂数は かなり少なかった。 <本年(平年差・比) > 稈長 78.9cm (101%) 積長 19.2cm (104%) 糖数 358本/㎡ (89%)				津軽地域 (県西部) 成熟期~収穫期	- 出穗最盛期 早7日	・出糖最盛期は平年より7日早い7月 28日で、その後も高温に推移したことから、刈取適期の始めは平年よりも 早まる見込み。 「まっしぐら」は平年と比べ、稈長が 並、糖長はやや長く、㎡当たり糖数は かなり少なかった。 <本年(平年差・比) > 稈長 78.9cm (101%) 糖長 19.2cm (104%) 糖数 358本/㎡ (89%)			
	津軽地域 (県西部) 成熟期~収穫期	一 出穂最盛期 早 <b>9</b> 日	・出稿最盛期は平年より9日早い7月 26日で、その後も高温に推移したことから、刈取適期の始めは平年よりも 早まる見込み。 「まっしぐら」は平年と比べ、稈長が 並、糖長はかなり長く、㎡当たり穂数 はかなり少なかった。 《本年(平年差・比) > 稈長 77.1cm (101%) 穂長 19.3cm (107%) 穂数 352本/㎡ (94%)		特になし		<u>県南地域</u> (県東郡) 成熟期~収穫期	一 出穗最盛期 早9日	・出穂最盛期は平年より9日早い7月 26日で、その後も高温に推移したことから、刈取適期の始めは平年よりも 早まる見込み。 「まっしぐら」は平年と比べ、稈長が 並、穂長はかなり長く、㎡当たり穂数 はかなり少なかった。 <本年(平年差・比)> 稈長 77.1cm (101%) 穂長 11,3cm (107%) 穂数 352本/㎡ (94%)		特になし	